

【法的根拠】
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領

学校の教育目標
 1 よく学び、深く考える生徒
 2 思いやりと規範意識のある生徒
 3 すすんで体を鍛える生徒
 4 社会に貢献する生徒

【地域の実情】【学校の実情】【子供の実態】【教師の願い】【保護者の願い】
 ・明るく素直で、心優しい人、思いやりのある人。・相手の気持ち、人のいたみがわかる人・目標をもち、誠実で自信と信念を持って生きる人。

学校の道徳教育の重点目標
 1 基本的な生活習慣を身につけ、心身の調和のとれた健康な生徒を育てる。
 2 温かい人間愛の精神を深め、思いやりのある心優しい行動がとれる生徒を育てる。
 3 自然を愛し、生命を尊重する生徒を育てる。
 4 集団の一員としての自覚を深め、協力し合える生徒を育てる。

各学年の指導の重点

<p>第1学年 ・思いやりの心を育てるとともに、基本的な生活習慣を身につけ、充実した中学校生活を送れるようにする。</p>	<p>第2学年 ・個性を伸長するとともに、物事に意欲的に取り組もうとする態度を養い、集団生活を向上させる。</p>	<p>第3学年 ・集団の一員としての自覚と自主的な態度を養い、理想の実現を目指して、自己の人生を切り開いて行くようにする。</p>
---	---	---



生活指導
 ・基本的な生活習慣を身につけ、集団の一員としての向上を図る。
 ・正しいことを自ら行なう判断力と実行力を養う。
 ・物を大切にし、他を尊ぶ心を養う。

環境整備
 ・校舎、物品の美化整備を図る。
 ・言葉遣いに気を付け、言語環境の整備を図る。

家庭・地域との連携
 ・授業参観と保護者会 * 道徳地区公開講座 * 地区別懇談会 * 校外美化活動など地域活動への参加。 * 学校だより、学年・学級通信の発行 * 道徳の教材に保護者の体験談や感想などを取り上げる。

推進体制
 ・道徳推進教諭、各学年の道徳担当者を配置し、健全育成に努力する。